



えどがわボランティアセンターだより

出会い

ふれ合い

助け合い

令和3年4月発行
第47号

【発行】公益財団法人えどがわボランティアセンター
〒132-0031 江戸川区松島1-38-1
電話:03-5662-7671/FAX:03-3653-0740
E-mail:edo-vc@city.edogawa.tokyo.jp

ここでも
ボランティア

ボランティア活動再開! ACBプランボランティアグループ(理容ボランティア) 子どもたち、ヘアカットしてサッパリ!



中村さんご夫妻(店内で)

昨年4月に開所した江戸川区児童相談所(はあとポート)で、子どもたちに理容ボランティアをしているご夫妻がいます。

「ACBプランボランティアグループ」(下欄参照)の代表中村若子さんと忠義さんご夫妻は、春江町で本業の理容業を営むかたわら、長年、区内の特養ホームで理容ボランティアを続けています。新型コロナウイルス感染が始まった昨年春から、理容ボランティアを休止していましたが、児童相談所から子どもたちへのヘアカットの依頼があり、快く引き受けて、ボランティアを再開することになりました。

昨年8月から月一回、休店日に児童相談所の訪問を始めました。マスク、消毒や換気などのコロナ対策を行って、毎回、5~9人の未就学児から中学生の子どもたちにヘアカットをしています。

あらかじめ子どもたちには、ヘアスタイルメニューから好みのスタイルを聞き、ときにはその場で「刈り上げて」、「前髪を揃えて」などの注文に応じます。お二人は子どもたちに優しく話しかけながら、巧みにカットして、一人15分位で終了。サッパリとした仕上がりに子どもたちも思わず笑顔に。「子どもたちの喜ぶ顔が見たいので、できる限り続けていきたい。」と代表の中村若子さんは嬉しそうに話していました。



巧みな手さばきの中村若子さん

ACBプラン ボランティア グループ

昭和62年、中村さんご夫妻と理容業の仲間7人が、「信じて」「認めて」「勇気ある行動」のフランス語の頭文字をとって「ACBプラン」と命名し、会を発足。その後、理容スタッフの成長のために「ACB職業訓練校」を設立し、当時は約100人のスタッフが技術を磨いていました。更に技術向上をめざし、月1回、区内の特養ホームを訪れ、無料でお年寄りのヘアカットをしていました。現在では中村さんご夫婦とご家族が、理容のボランティア活動を続けています。

問合せ先 (公財)えどがわボランティアセンター ☎03(5662)7671

2021
えどがわボランティア
フェスティバル
～ 冬に開催予定! ～

令和3年度は12月5日(日)に開催予定です。ボランティア団体がブース展示やステージ発表など日頃の活動を紹介する祭典です。※新型コロナウイルス感染状況により、日程や会場、内容等を変更する場合があります。

ボランティア センターの 最新情報

スマホでもチェック
することができます!
下のQRコードを
読み込んでください



令和2年度
ふるさと
「手づくり郷土賞」受賞
(大賞部門)
～篠田堀親水緑道を愛する会～

当ボランティアセンター登録団体「篠田堀親水緑道を愛する会」は、国土交通省が昭和61年度に創設した「手づくり郷土賞」(大賞部門)を受賞しました。平成7年度に次いで2度目の受賞です。

篠田堀親水緑道の清掃を通して、地域の魅力や個性を創出した継続的な地域活動が認められたことによります。



篠田堀親水緑道の清掃活動

♡ 手作りの布絵本を♡
子どもたちへプレゼント!!

布やフェルト、ボタンを使って作った布の絵本。ボランティアグループ「布絵の会」は、昨年クリスマスに江戸川区児童相談所へ布の絵本や布のおもちゃを寄贈しました。併せて「布絵の会」代表吉崎俊子さん(左)と「江戸川ボランティアおはなしこぼこ」代表山本國子さん(右)は、布絵本を使ったおはなし会を開催し、紙とは違った立体的な造形、臨場感のあるお話に、目を輝かせて見入る子どもたちの表情が印象的でした。



布絵本によるおはなし会

令和3年度 ボランティア保険・行事保険 ～加入受付中～

ボランティア保険の改定と保険料助成金の据え置き

ボランティア保険の改定

令和3年4月1日から新たな保険期間が始まります。令和3年度分は、3月8日(月)から受付をしています。今回は内容の一部に変更があります。

*基本コースAプランの保険料300円が350円に引き上げられます。

補償内容に変更ありません。

*基本コースB・Cプランと天災コースの保険料に変更はありませんが、補償金額が減額されます。

なお、新型コロナウイルスについては、引き続き補償可能です。

ボランティア保険料助成金は据え置き、50円の自己負担を

ボランティアセンターに登録をしている団体に対して、保険料を助成しています。

令和3年度の助成金は、引き続き300円となりますので、基本コースAプラン350円に加入する場合は、1人あたり50円の自己負担となります。

ボランティア保険とは??

- ① ボランティア活動中の事故でボランティア本人がケガをした。
 - ② ボランティアが、ボランティア活動で他人に損害を与え、損害賠償の問題が生じた。
- ①、②の場合を補償する保険です。

ボランティア保険・行事保険の詳しい問い合わせ

(有)東京福祉企画

03-3268-0910

三井住友海上火災保険

03-3259-7593

行事を企画される方は、事故に備えて行事保険に加入を!

行事保険はこれまでどおり

「行事保険」及び「行事保険(当日参加対応型)」の加入手続きは、行事の一週間前までに終えるようお願いします。

また、申込みは一か月単位です。(一枚の申込用紙で月をまたいでの申込みはできません。)

行事保険とは??

国内で、福祉活動やボランティア活動などを目的として、または、市民活動の一環として、非営利の団体が主催する行事の参加中に、

- ① 参加者が偶然な事故でケガをした場合の損害補償
 - ② 主催者が行事の参加者など他人の身体や財物に損害を与え、主催者が法律上の賠償責任を負った場合の賠償責任補償
- ①、②の補償がセットになった保険です。

● このページのお問い合わせ先 ● (公財)えどがわボランティアセンター Tel 03-5662-7671

ボランティアさん募集情報

募集情報の掲載を希望される施設、団体の方は、ボランティアセンターまでお問い合わせください。
TEL 03-5662-7671 / FAX 03-3653-0740

ふれあいサロン(五分一会館)

内容 … 地域ボランティアによるおしゃべりカフェでお話し相手やゲーム、工作などを一緒に楽しんでいただきます。
「えどトレ」のような簡単な運動を毎週午前10時半から行っています。運動だけのご参加でもかまいません。お気軽に、見学お待ちしております。

日時 … 毎週水曜日 9:30~11:00
(ご都合のよい時間に来てください)

場所 … 江戸川区松島 1-9-1(五分一会館)
都バス「小松川警察署前」下車 徒歩5分

交通費・食事 … 支給なし

電話 … 090-1259-2985 担当 … 柳沢

地域活動支援センターこまつがわ

内容 … ①ランチ作りを手伝って下さる方
②将棋・麻雀の相手をして下さる方
③傾聴及び見守りをして下さる方

日時 … ①土曜日
10:00~15:00(ご相談ください)
②③火曜日~日曜日の都合の良い時間

場所 … 江戸川区小松川 2-9-2
都バス「小松川3丁目」下車 徒歩4分

交通費 … ①1000円
②③支給なし

食事 … ①支給あり
②③支給なし

電話 … 03-5858-6421 担当 … 大野

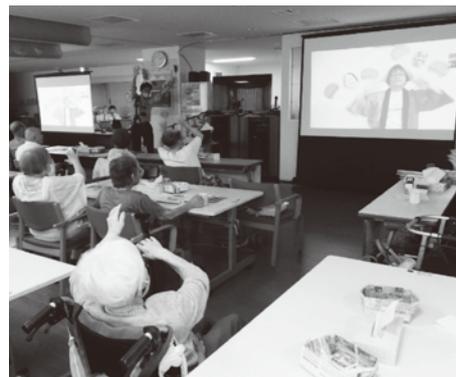
オンラインで特技を披露できる 団体・個人ボランティアを募集します!

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、現在も高齢者施設への直接の訪問できない状況が続いています。

このような中で、オンラインを利用した訪問(特技披露)を受け入れている高齢者施設があります。また、今後利用を希望する施設も増えています。

そこで、楽器演奏、ダンスや手品など、自分の特技をオンラインで披露できる団体や個人のボランティアを募集します。

お問い合わせ えどがわボランティアセンター Tel.03-5662-7671



高齢者施設でのオンラインボランティアの様子

令和3年度ボランティアセンター 土曜日の一部閉所の試行 について

平成12年、ボランティアセンター開設以来、毎週土曜日を開所してまいりましたが、コロナ禍以前から土曜日の相談や来所者が減少しております。令和3年度は、土曜日の一部閉所を試行し、平日の窓口体制を強化していきます。令和3年度末に、この試行の結果からセンターの「土曜日の在り方」を検討していきます。

試行期間 … 令和3年4月1日~令和4年3月31日

試行の内容 … 毎月第二、第四土曜日を開所し、それ以外の土曜日は閉所します。

ボランティア活動室の土曜日の利用 ………………
事務所内の活動室はセキュリティの管理上、開所日の第二、第四土曜日のみとなります。

ありがとう 使用済み切手

11月~2月 受領: 122件 / 32.7kg
ボランティアの振興に有効に使わせて頂きます。

ボランティア団体登録数

登録団体数: 219団体 / 登録人数: 6,156人
(令和3年2月現在)



シリーズ たすけあい～災害ボランティア～

第2回 災害ボランティアの心得 (ボランティアの呼吸 四つの型)

被災地の復興支援のために活動する災害ボランティアは、とても大きな存在となります。一方で、気をつけなければならないことも多くあります。ボランティア活動が被災された地域や人々の負担にならないよう、災害ボランティア活動を安全に行うための、4つの心得(四つの型)を紹介します。

一の型 周囲の理解を得るべし!

災害ボランティア活動に参加する際は、家族などに説明し、理解を得てから参加しましょう。

二の型 情報収集に努めるべし!

被災地でのボランティア募集の情報や、ライフラインの状況、交通手段、宿泊場所の確保など、ボランティアに出発してから帰ってくるまでに必要な情報を収集しましょう。特に、新型コロナウイルス感染症のためボランティア募集の地域を限定している場合があります。

三の型 服装・持ち物など準備を万全にするべし!

食料や活動ができる服装の準備、ボランティア保険の事前加入など安全に活動できるように準備を万全にしましょう。その他にも、被災地までの交通費、宿泊費などもボランティア自身で用意します。

四の型 体調管理をするべし!

発熱や下痢など、自身の体調に変化がないかチェックしましょう。災害ボランティア活動は重労働であったり、被災された方々の気持ちと向かい合うことが必要となります。心身ともに健康であることが大切でケガをしたりして被災地の負担にならないようにしましょう。

次回は、「災害ボランティアセンター」を紹介します。



ボランティア活動の際の服装・持ち物の例、主に水害のイメージです

- 帽子もしくはヘルメット(頭の防護・熱中症対策)
- マスク(ゴーグルもあれば、なお良い)
- 軍手・ゴム手袋・タオル(枚数は多めが良い)
- 長袖・長ズボン(通気性のあるもの・汚れても良いもの)
- 長靴(踏み抜きインソールもあると、なお良い)
- リュック、ウエストポーチ、雨がっぱ
- 常備薬・ボランティア保険加入証・健康保険証
- 食料・水・現金 など

※災害の種類や被害状況、季節によって内容が変わってきます。

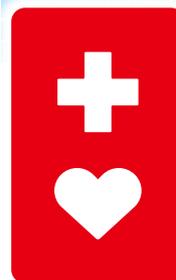


ご存じですか?

このマーク

ヘルプマーク

赤の地に白の十字とハート。「ヘルプマーク」といいます。街中や電車の中でよく見かけるようになりました。義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または、妊娠初期の方など、外見からは分からなくても援助や配慮を必要とする方が、周囲の方に配慮をしてほしいことを知らせるマークです(JIS規格)。このマークを見かけたら、電車・バス内で席を譲る、困っているようであれば声をかけるなど、思いやりのある行動をしましょう。



問合せ先 (公財)えどがわボランティアセンター ☎03(5662)7671